



磐梯山に登山シーズン到来

例年より2週間遅れで磐梯山開き



残雪を踏みしめながら山頂を目指す登山者ら

磐梯朝日国立公園指定60周年という記念の年を迎えた磐梯山(1,819㍍)の山開きは5月23日に開催され、約2,500人の登山客らが山頂を目指しました。

今年の山開きは、4月の天候不順と残雪の影響で、予定より2週間延期されての開催。猪苗代登山口では関係者、登山客らが参加して安全祈願祭が執り行われ、今シーズンの登山客の無事故を祈願しました。山頂付近は強風と濃い霧に覆われ、猪苗代湖などを望むことはできませんでしたが、宝の山を踏破した登山者らの充実感あふれる笑顔が見られました。

住民の命と財産を守り抜く

消防団春季検閲で訓練の成果披露



カメラナで通常点検を受ける消防団員ら

町消防団の春季検閲は4月29日、カメラナで開催されました。雨天のため、屋内で実施されたこの日の検閲には、町内6分団から約370人が参加。規律訓練などできびきびとした動きを見せました。

また、検閲後に催された町消防団協力事業所表示証交付式では、新たに協力事業所となった安部建設(株)の安部雄哉専務に表示証が手渡されました。



協力事業所表示証の交付を受けた安部専務

活動が認められ県知事表彰

町婦人消防連絡評議会に表彰旗



受賞を喜ぶ土屋会長(中央)と小桧山隊長(右)

町婦人消防連絡評議会の土屋紀伊子会長と小桧山ナミ子千里隊長は5月28日、町役場を訪れ、津金町長に表彰旗の受賞を報告しました。この表彰旗は、同日、二本松市で開催された第63回福島県消防大会の席上で県知事から贈呈されたものです。

報告を受けた津金町長は「町としても大変名誉なこと。これからはより一層予防消防に努めてほしい」とねぎらいの言葉をかけました。土屋会長は「今回の受賞は、多くの先輩たちが努力を続けてきた結果。これからは家庭から火災を出さないように、予防消防に努めたい」と抱負を語りました。

鈴木選手に町特別表彰贈呈

町民に与えた勇気と感動たたえる



出席者一人一人にメダル獲得を報告する鈴木選手

町は5月1日、バンクーバー冬季パラリンピックのアルペン男子大回転座席で銅メダルを獲得した鈴木猛史選手(駿河台大4年、猪苗代高卒)に町特別表彰を贈呈しました。贈呈式は同日、町農村環境改善センターで開かれた鈴木選手の祝勝報告会に先立って開催され、津金要雄町長は「町民に勇気と感動を与え、猪苗代の名を世界に知らしめてくれた」と活躍をたたえました。

その後の報告会では、鈴木選手が「皆さんに約束したメダルを持ち帰れてうれしい」と話し、出席者約70人とメダル獲得を祝い合いました。

プルタブ集め車いすを寄付

西円寺佛教婦人会が車いすを寄付



左から真田住職、土沼会長(3人目)と会員の皆さん

西円寺の真田隆住職と西円寺佛教婦人会(土沼敬子会長)の会員らは5月14日、町役場を訪れ、アルミ缶のプルタブを集めて交換した車いす1台を町に寄贈しました。

土沼会長は「14年から収集を始め、会員や檀家だけでなく、周りの人たちからも協力を得て集めた約300㍑分を車いすと交換しました。今後も収集を続けていきたい」と抱負を述べました。

津金町長は「一つ一つの積み重ねを道具に変えていただいた。皆さんのあたたかい気持ちに感謝します」とお礼を述べました。

この車いすは、いなわしろ聖苑で活用されます。

自分の体に関心持つ機会に

猪苗代病院で看護の日イベント



看護師らによる血糖測定などを受ける来院者

ナイチンゲールの生誕日にちなんで制定された「看護の日」の5月12日、町立猪苗代病院では、イベントコーナーを設置して、来院者の健康チェックなどを実施しました。

同院では血糖、血圧やBMI測定、喫煙者への一酸化炭素濃度測定コーナーなどを設置して、来院者の健康をチェック。数値が高い人には、サプリメントの紹介、栄養食品の試食会やリハビリ指導などを実施しました。

町立病院の加納係長は「皆さんに、自分の体に関心を持ってもらい、健康に気をつけてもらう一助となれば」と話しました。